

平成30年度 9月号



学校だより

横浜市立今宿小学校

＜今宿小学校学校教育目標＞

- 一人ひとりのよさを生かし、基礎基本の身についた子を育てます。
- 社会のルールを守り、豊かな人間関係を築ける子を育てます。
- 命のすばらしさや大切さを知り、心身の健康を自ら増進する子を育てます。
- 様々なふれあい活動を通して、お互いを認め合い共に生きる喜びを味わえる子を育てます。
- 様々な体験活動を通して、社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

2018サッカーワールドカップを終えて

校長 伊藤 和義

興奮もすでに冷めてしまっている頃ではありますが、ここで2018サッカーワールドカップをちょっと振り返ってみたいと思います。夏休み前の6月下旬から7月上旬にかけてサッカーワールドカップロシア大会が実施されました。この大会で日本代表は、予選リーグを突破して決勝トーナメントへ進出することができました。そして決勝トーナメントで対戦した相手の国はベルギーです。先に2点先取したときには、応援していた多くの方が決勝トーナメント勝ち上がりが夢ではなく現実となりそうだと確信したことでしょう。結果としては、残念ながらその後3点を取られ破れてしまいました。ベルギーは強豪国ブラジルにも勝ち4強入りをしたのですが、フランスにやぶられてしまいました。フランスがこの大会の頂点に立ったのです。日本代表の選手は日本のサッカー選手のまさに代表であり、選りすぐりの素晴らしいテクニックを持つ選手ばかりです。でも上には上のテクニックやパワーがあるのだということを実感しました。一方で、今大会3位となったベルギーとあそこまで戦えたのが凄いとも言えると思います。みなさんはこの大会が終了したところでどんな思いをもったのでしょうか。



※ SNS ニュースより引用

さて、このワールドカップロシア大会で日本のサポーターが話題に取り上げられていたことをご存知の方も多いと思います。日本のサポーターは試合が終了すると、試合会場のゴミ拾いをしてから会場を引き上げたのです。これを取り上げた海外メディアは、「日本人は何でこんなにもマナーがよいのか」と言っていました。このニュースを聞いて、そのもととなる一つに学校での教育があるのではないかと思います。日本の学校では、教育の一環として清掃活動を昔からずっと行ってきています。自分達が使用するところは自分達できれいにする。これを当たり前のこととしてきました。この精神が源となっているのではないのでしょうか。世界的にみると児童・生徒が自分達の通う学校を清掃するのは、とても珍しいことなんでしょう。日本に古くからある「物を大切に使う精神」や「おもてなしの精神」は、日本に住む我々にとっては普通のこととして受け止めていますが、あらためてこのように取り上げられると実はとっても大切なことなのではないかと感じます。普通で当たり前のことが実はとても大切だったりする、でもそこになかなか気づかない、大切さをつい忘れてしまう、そんなことが身の回りにはあるのかもしれない。本校でも素晴らしい伝統をあらためて再確認し大切にしていきたいと思っています。また学校は2年後から新しい指導要領に基づき新しい教育が展開されるようになります。新しい取り組みを導入して、旧と新を上手に融合させていきたいと考えています。キーワードは、「伝承」と「改革」です。脈々と培われてきたものを大切に「伝承」しながら新たなものへ「改革」していきたいと思っています。